

わたしたちの街に新しい発見

ふ♡れ♡あ♡い

いかた

9月号

No.17
平成18年
9月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社

小学生国内派遣事業(北海道泊村) ミシコ ヨ テン 鯉御殿前にて



今月の主な紙面

- 親善大使北海道泊村へ
- 通学合宿
- 伊方スポセンだより
- 図書館だより
- 学校通信
- 人権シリーズ
- 子ども放送局
- 町見郷土館から
- 佐田岬民俗ノート
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

9月のテーマ

“お年寄りや目上の人を大切にしよう”

(実践方法)

- お年寄りを囲んで、若い頃の苦労話や昔話に耳を傾け、お年寄りへの理解と敬愛を深めよう。



子ども親善大使 北海道泊村へ 町内小学6年生35名



8月8日(火)から10日(木)までの3日間、町内小学生(6年生) 35名と随行員4名の39名で北海道泊村方面への派遣事業を実施いたしました。

この事業は、21世紀を担う青少年の健全育成を促進するための事業で、姉妹町である北海道泊村へ子どもたちを派遣し、文化、人的交流をはかり様々な体験学習を通して幅広い見識を持ち行動力のある人材を育てることを目的に、教育委員会が実施するもので今年で8回目となります。

初日は、ラフティング(ゴムボートによる川下り)を体験しました。尻別川の8キロの行程を約2時間かけて最後まで漕ぎ続けました。今年は川の水量が少し少ないため、時間がかかりましたが、各班ことでインストラクターの指示に従い楽しみながらできました。

泊村での交流会では、きなはいや伊方まつりで交流した泊村小学校6年生23名に出迎えられ歓迎式典が行われました。その後は、泊村の水産業施設「泊村栽培漁業センター」や「鯨御殿とまり」等の見学を一緒にし、さらには泊村アイスセンターでスケート体験をしました。



泊村ウニ種苗生産施設の見学

初めてスケートをする子が多く、最初はリンクの周りに捕まって恐る恐る滑っていました。時間がたつにつれてリンクの周りに捕まっている子がいなくなり、楽しそうに泊村の小学生と滑ることが出来ました。

また、昼食はジギスカンを用意していただき、全員美味しく食事が出来ました。泊村の子どもたちとはすっかり打ち解け、楽しく貴重な体験を共有することができました。

研修生たちは、その後も北海道の大自然にふれ、多くの友だちを作り、夏休みの楽しい思い出のページを、また一つふやすことができました。



ソーセージ造りの体験



乳搾り体験

豊小っ子チャレンジスクール

7/9～13開催 対象 豊之浦小

主催 中央公民館



みんなで宿題中、えらい！



腹へった！いただきま〜す！

亀ヶ池ワクワク体験スクール

7/10～14開催 対象 二見小

主催 町見公民館



みんなで協力してカレー作り？



おやすみ…zzz…

佐田岬ッズ生活体験塾

7/11～15開催 対象 二名津小

主催 三崎公民館



みんな手話で歌オ〜！



夏はやっぱり花火だね！

通学合宿続々開催

豊之浦集会所に二見分館に二名津分館に

子供達の元気な声が響く！！



豊之浦集会所、二見分館、二名津分館でそれぞれ豊之浦、二見、二名津小の4年生から6年生の児童を対象に中央、町見、三崎の各公民館が4泊5日の通学合宿を実施しました。この事業は、異年齢の児童が親元を離れ、身近な施設で共同生活を

しながら学校へ通い、家族の大切さを認識し、自主性や協調性、また思いやりや敬いの心を育むことを願って実施しました。学校が終われば我が家ではなくそれぞれの施設に帰る宿題、洗濯、買い物をすませて夕食作り、そして夕食後の後片付け、

翌朝起きて掃除、朝食作り、後片付けをし身支度をしていざ登校と、普段当たり前にしていることが、自分ですらなから、なれない子供だけの生活が始まりました。改めて親や家族のありがたさが身にしみたのではないのでしょうか。しかし

子供達の適応能力もさる者初めこそ何をしていいか戸惑い、誰かがするのを見ている場面もありましたが、自分が動かなきゃ始まらないと気づくと少しずつ積極的にまた協力し合うようになり、日に日にたくましく、楽しく過ごすようになっていきました。また、先生や地元の方の協力で、星空観察や手話教室などの貴重な体験や花火やバーベキューなどの楽しい体験もでき、5日間それぞれの施設で子供達の元気な声が響きました。

そして子供達は一つ屋根の下で、同じ釜の飯を食べながら過ごしたことで、以前よりもお互いのことを知り合えたのではないのでしょうか、参加した児童の皆さんは、この通学合宿を糧に、これからも元気に前向きに頑張ってください。最後にこの事業にご協力下さいました先生、保護者の方を始め地元の方々、大変ありがとうございました。これからもち元の子供達を厳しくそして優しく見守ってあげて下さい。

伊方スポーツセンターだより

★トレーニング教室の3期生を募集いたします。

- 期 間 9月～10月 ※1期は2ヶ月です。
- 時 間 ①18:30～20:00
②20:00～21:30
(希望の時間帯にお越し下さい)
- 対 象 者 一般成人男女
- 会 場 トレーニングルーム
- 定 員 20名
- 受 講 料 4,000円/2ヶ月
(8回分)
- 持 ち 物 運動のできる服装・屋内シューズ
- 申込方法 スポセン2階事務所に受け付けております。
なお、定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。



★ジュニアスイミングスクールも随時、募集いたしております。

- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。
伊方町役場(生涯学習課) ☎ 38-2661
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100
☎ 38-0776



女性のつどいのご案内

伊方町婦人会では町教育委員会と共催で「健康で明るく心豊かな住みよいまちづくりのために、女性によるパワフルな活動を展開しよう」というテーマのもと、今年度も「女性のつどい」を開催いたします。

今年度は、京都市から高嶋紀子先生を講師に迎え、「女性と人権」(仮題)と題し、講演会を行います。

男女共同参画社会の実現は女性だけの課題ではありません。男性の参加もかまいませんので、この機会に是非学習されてみてはいかがでしょうか。

- ◇日 時 平成18年9月9日(土)13:30～15:20
- ◇場 所 伊方町生涯学習センター 5階
多目的ホール
- ◇演 題 「女性と人権」(仮題)
- ◇講 師 高嶋紀子氏
(ジャーナリスト・大学講師)
- ◇対象者 どなたでもOK
- ◇受講料 無料(受講希望者は生涯学習課へ9月7日(木)までにご連絡ください)
- ◇連絡先 38-2661



8月6日(日)愛媛県総合運動公園相撲場にて、愛媛県小学生相撲選手権大会が開催されました。
伊方町からも7月30日(日)に行われた子ども相撲教室伊方場所において、優秀な成績を収めた6名の豆力士が出場しました。

中、子ども達は大人顔負けの激しいぶつかり合いで会場を大いに盛り上げました。
団体戦では、3年ぶりの決勝トーナメント出場を果たし、個人戦では、水ヶ浦小学校5年生の山口直人君が準優勝し、8月27日に高知県で開催される四国大会への出場権を獲得しました。

2006

愛媛県小学生
相撲選手権大会



図書館だより



今月の新刊

〇一般向け

- ・ライブドア監査人の告白／田中慎一 著
- ・年をとってもぐんぐん体が丈夫になる法／石津政雄 著
- ・ロボットの天才／高橋智隆 著
- ・一目でわかる！アスベスト新法 Q&A編
- ・いちばんわかりやすい テーピング図解テクニック／
斎藤隆正 著
- ・検証 骨粗鬆症にならない体質／マリリン・グレンビル博士 著
折茂 肇 日本語監修
- ・伊予鉄が走る街 今昔／大野 鐵・速水 純 著
- ・あと5センチひっこめろ／都竹 茂樹・梶岡多恵子 著
- ・大きな文字でスラスラ読める 中高年のパソコン指南
インターネット自由自在
- ・月が100回沈めば／武田ティエン 著
- ・145gの孤独／伊岡 瞬 著
- ・罟釣師(トラッパーズ)／三浦明博 著
- ・新風に吹かれて／五木寛之 著



ほか

〇子ども向け

- ・天気あめノート／真田麻垂美 著
- ・ハーフ／草野たき
- ・命の重さはみな同じ／沢田俊子 文, 野寺タ子 写真
- ・組み木絵本 ふるいみらい／中村道雄 組み木絵
中山千夏 ことば
- ・おばけこわくないぞ／石津ちひろ 作, 石井聖岳 絵
- ・まいごのねこさかな／わたなべゆういち 作・絵
- ・ピリカ、おかあさんへの旅／越智典子 文, 沢田としき 絵

ほか

図書館からのお知らせ

9月12日(火)～9月23日(土)は図書整理期間のため、図書館のみ休館となります。

図書整理期間中の本・雑誌の返却は、生涯学習センター入口の返却ポストへ入れてください。

9月3日(日)～10日(日)貸出分のCD・DVDについては、23日(土)まで貸出延長とし、24日(日)に返却してください。

利用案内

- 開館日／火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

9月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■…休館日

ピップスおはなし会のご案内

9月のおはなし会は
9日(土)の午後2時から
行います。



絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。
みんな来てね!



わくわく三崎公民館ニュース

★にぎわつ三崎の土曜の夜
野外映画でちびっ子も釘づけ

7月29日及び8月5日の土曜日、三崎地区の中村商店街と二名津地区の二名津公園を会場に土曜夜市が開催されました。この夜市は三崎地区と二名津地区の2箇所での夏の風物詩として地元商工会青年部、ママさん学級の主催で行われています。綿飴、かき氷、ポテト、トウモロコシなどの食べ物のほか、お面やおもちゃ、カブトムシや金魚すくい等の子供達に人気の出店がズラリと並び、またお父さんにも嬉



とれるかな？ 定番の金魚すくい



starlight theater (星明りの劇場)

しいビールに焼き鳥など、夜の商店街や公園は子供や大人の楽しい声で活気に満ちていました。また、今年は三崎地区の夜市で「みさきスターライトシアタークラブ」による野外映画が実施され、子供達は星明りの下、大きなスクリーンの前に映し出される映像に釘づけになっていました。



女性講座開催

食とエネルギー

事情講演

シフォンケーキ作り！

女性の社会参加の為の研修や仲間作りを目的とした女性講座が三崎公民館で開催しました。この講座はおおむね50歳以上の女性を対象として年間約7回開催しています。先日行った第2回目には四国電力の方を講師に招き、食とエネルギー事情に関する講座とアイロンビーズの作り方を習いました。第3回目は、地元出身で現在松山市に在住の二宮満子先生を講師に招き、地元の特産品の清見タンゴ



おいしそうな匂いにつられて

ル等を使ったシフォンケーキ作りを行いました。初めて作るシフォンケーキも百戦錬磨の主婦の皆さんにかかれればレシピや作り方が分かればチョイチョイのチョイだったでしょう。地元の特産品を使って家の人にも作ってあげて下さい。



シフォンケーキ作り



食とエネルギー事情について

綺麗な花を咲かせて！

あこっ樹学級生

10周年記念



桜を植樹

三崎保健福祉センターの一角(国の天然記念物あこっ樹の前)に、あこっ樹学級開校十周年を記念して、桜の植樹が行われました。学級生の手により植えられた5本の桜は、真夏の日差しと学級生があげる水と思いやりを一杯に浴びすくすくと育ってほしいものです。満開に咲いた桜とあこっ樹が行き交う人の目を和ませてくれる春の日が、今から待ちどおしいです。



桜を植樹する、あこっ樹学級生の皆さん



携帯電話の危険性や安全な使用法の講習

今や生活に欠かせない存在となりつつある携帯電話ですが、電話での会話の他にメールや、写真、テレビ電話など便利な機能はたくさんあるのに使い方が良くわからない。一方、架空請求、なりすましメール等のサギや出会い系サイト、個人データの流失など携帯電話には危険な側面も多々あります。そこで7月20日三崎公民館とドコモショップ八幡浜店と共催で『携帯電話あんしん教室』を実施しました。最初に携帯電話を安全に利用するための講習をし、携帯電話によるトラブルや犯罪事例



ケータイって便利！ケータイって怖い！
「携帯電話あんしん教室」開催



ケータイ何でも相談コーナー

とその対処法などを学びました。近頃は高齢者や未成年を狙った新種のサギも多くなっており、出会い系サイトによる被害の65%は中高生でしかありません。でも女性です。中高生や保護者の方は携帯電話の利用にはくれぐれも気をつけて下さい。その後ケータイ何でも相談コーナーを行い、参加者はメールで送ってもらった孫の写真を受け取り画面にしたり、ビデオの見た方を教えてもらいながら便利な機能の使い方や日頃疑問に思っていることを講師のドコモショップ八幡浜



これどうしたらええの？ 教えて！

店の方にいろいろ教わっていました。今回は高齢者の方の参加が多かったですが、携帯電話の危険性や対処法また楽しい機能の使い方がよく分かった、次回もやってほしいとたくさんの声がありました。

輝いて岬をぐぐり

ボランティアで

手話教室

このコーナーでは、輝く岬の素敵な女性を紹介します。今月は、三好真弓さん、山口宣子さん、清水美智子さんです。3名の方は、ボランティアで地域の人たちに手話を教え、多くの人に障害者の方達との交流や手話でのコミュニ



右が三好さん、左が山口さん



子供達に手話教える左が山口さん、右が清水さん

ケーションの楽しさを知ってもらおうと三好さんは大人を、山口さんと清水さんは子供を対象に月2回三崎公民館で活動を行っています。先日三崎公民館主催の通学合宿で子供達に手話を教えていただきました。これからも素敵に輝いて下さい。



ALTのアンドレア パーペットさん

新しい、ALT(外国語指導助手)さんがやってきました。7月までお世話になったアンタム・トーレンボレーさんに変わり、8月よりアンドレア・パーペットさんが、三崎地域の小中学生に英語指導をして頂くことになりました。アンドレアさんは、カナダのプリンスエドワード島の出身で、ここは小説「赤毛のアン」の舞台になったところです。皆さん優しくしてあげて下さい。

WELCOME TO 三崎
アンドレアさん
いらっしやい！

学校通信

花と緑で心も豊かに

伊方小学校

伊方小学校では、児童が植物に親しみ、自然を愛する心を育てるために様々な体験活動を行っています。また、平成九年に「緑の少年隊」を結成し、植栽活動に努めています。

五月三十日には、日赤奉仕団伊方支部の方々と、国道沿いの花壇に花苗を植えました。以前から続いている活動ですが、国道を行く人達の目を少しでも和ませることができればという思いを込めながら植えました。管理は大変ですが、地域の方々に助けていただきながら頑張っています。

同じ七月五日に「森林緑地教室」も実施しました。「身近な木について学ぼう」という内容で、八幡浜地方局森林緑地課の皆さんに木についての話をいただき、学校の木の名札付けなどをしました。子ども達の樹木への関心も高まったことと思います。

地域の方々の協力の下、今後もこのような体験活動を通して児童の心を育て、花と緑の豊かな環境を整えていきたいと考えています。

七月五日には、湊浦老人会の皆さんと、花の苗植えを行いました。植え終わったプランターは、庁舎前や湊浦ふれあいセンターなどに設置しました。今年で五年目となる活動ですが、老人会の方々の指導を受け、子ども達も黙々と作業に取り組



「勇気の火を：友情の火を：」

火の神も応援！

瀬戸中学校

七月四日～七日の三泊四日、二年生は、自然の家の宿泊体験活動を行いました。

学校で出発式を行い、曇り空の下、早速、フリースハウスまで15kmのウォークに挑戦、担任の先生も加わり、全員元気に目的地に到着しました。

フリースハウスでは、竹細工・親子バーベキュー(学級PTA活動を兼ねた)・フィールドワーク・キャンプファイヤーなど、時にはどしゃ降りの雨に打たれながらも、全員元気に、思い出に残る自然体験活動ができました。

本校は、今年と来年の二年間、文部科学省より、長期宿泊体験事業の指定を受けています。そのため、例年よりも充実した自然の家の活動を計画しています。今年は、今回の活動に、職場体験学習や戦争体験に基づいた平和学習を取り入れました。秋には大洲青少年交流の家で違った内容の活動や学習を行います。

来年は、今の一年生が、瀬戸での自然体験に加え、広島島の江田島へ出かけての力ッター訓練などを計画しています。

今回の活動では、地元的女性



二見っ子わくわくキャンプ

二見小学校

毎年、子ども達が楽しみにしている「二見っ子わくわくキャンプ」が今年もPTAの企画立案で行われました。

八月五日の午後、水泳や宿泊(三年生以上)の準備をして、一日目がスタートしました。日常泳ぐことのない海での水泳やすいか割り、五年生にとっては三回目となる飯盒炊飯夕食後はキャンプファイヤーやきもだめしを楽しみ、最後はテントでの宿泊で一日を終了しました。

二日目は、ラジオ体操、テン

ト撤収、朝食、開会式、解散となりました。

キャンプの実施に際しては会長・副会長さんを中心、六年生の保護者の皆さんが役割を分担して献身的



に準備・運営に当たって頂き、子ども達にとって、とても充実した夏休みの思い出となりました。このキャンプで体験したことをこれからの日常生活にも活かしていけることを願います。



人権学習シリーズ 201

「あこう樹学級」の十年

三崎地域教育課

平成八年度に開講した「あこう樹学級」、三崎地域教育課の中で地味ではありますがユニークな学習活動を展開しています。

この学級は、同和地区の方々の中から学級生を募集し、その意欲ある学級生たちによって運営されているもので、今年度で十一年目になります。これは、三崎地区での地味な人権教育活動がまさしく人権教育に滋味をもたらしている活動といえます。

「あこう樹学級」では毎年毎年、その一年の活動を学級文集としてまとめています。

活動は、だいたい月一回のペースで行われており、その内容は道路清掃や空き缶拾いなどのボランティア活動、文化祭出品のための作品作り、老人クラブとのクロッキー交流大会、料理教室、健康相談、そしてもちろんメインはセミナー形式の人権教育学習会などです。

平成十七年度の文集の中で、特に感激深かったところを記

述して「あこう樹学級」の一端を紹介してみたいと思います。

それは、八十六歳になる学級生の次の言葉です。

「この一年間楽しく学級活動が出来たので、十八年度も尚一層頑張るつもりです」と結ばれていたところでした。読んだ私も思わず心がうきうきしてきました。

そして、それを裏付けていたのが石本学級長さんの「あこう樹学級」で一番の成果はお年寄りの人たちの意識改革です。学習することによって前向きに物事を考えるようになり、このエネルギーによって人権問題に関するハードルを一つ一つ越えてゆきたいと思います」と語られていた点です。

今年六月には「あこう樹学級」活動十周年を記念して学級生たちによって桜の苗木五本が植樹されました。国指定の天然記念物「あこう樹」のすぐそばで、学級生達のゆっくりとしたペースではありますがその確実な歩みを象徴するモニュメントです。その桜の成長と十一年目の活動を収めた文集の発行、楽しみがひとつ増えました。

第58回 全国人権・同和教育研究大会愛媛県大会ご案内

1. テーマ 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう
一部問題点を解決し、人権文化の創造をはかるために、同和教育の充実と発展を通して人権教育・人権啓発を構築していこう
— 地元大会テーマ みどりの山 あおい海
愛媛から発する人権文化
～人類の未来は人権にかかるとるぞなもし～

2. 期 日 2006年12月2日(土)、3日(日)

3. 大会会費 4,000円(参加資料代)

4. 会 場 開会全体会＝愛媛県武道館

(メイン会場：県外参加者)

愛媛県県民文化会館

(サブ会場：県内参加者)

分 科 会＝松山市内の小学校・中学校・高

等学校 31会場

※尚、資料等は生涯学習課まで、お問い合わせ下さい。

9月

2日 生放送	9日 生放送	16日 生放送	23日 生放送
11:00 Let's open the door! ⑰	11:00 Let's open the door! ⑱	11:00 輝く子どもたち	11:00 Let's open the door! ⑲
11:05 子ども放送局 ニュース にじいろ玉手箱	11:05 ゆめ 夢スタジオ 二人三脚の金メダル ～トリノパラリン ピック日本代表 こばやし みゆき 小林深雪さん～	11:05 あきた けん 秋田県から なまほうそう 生放送! あきた けん おもだち 秋田県のお友達の、 さきさま かづつ しょうかい 様々な活動を紹介しますよ!	11:05 チャレンジ教室 手芸(手遊び) おきなわ でんとうがんく 沖縄の伝統玩具 ほし ☆星コロづくり☆
11:15 「おしえてニュース」 「なんでも やってみよう」 いすも であ 出雲のお寺でお坊 さん体験	11:15 ほとんど目が見えない小林さんは、 スキーと射撃をくみ あわせた競技「バイ アスロン」で見事金 メダルを手にしたん だ。子ども時代のこ とやたくさんの方の 助けしてくれた人への おもいなどを語って もらうよ。	11:15 	11:15 手芸テープを使っ て星のようなかわい い形の「星コロ」をつ くるよ。 なか こいし い 中に小石を入れて音 をさせたり、息を吹 きかけてクルクル回 したり、遊びかたも いっぱい 講師 片田雄邦 さん
11:30 「子ども特派員報告」 「おたよりコーナー」 など。	11:30 全国の体験活動 情報がぎっしり。 (11:45)	11:30 (12:30)	11:30 (12:00)
11:45 再放送 6日 13:30～ 10日 15:30～	11:45 再放送 13日 13:30～ 17日 15:30～	11:45 再放送 20日 13:30～ 24日 15:30～	11:45 再放送 27日 13:30～ 31日 15:30～

生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

子ども放送局



みんな来て！見て！参加してね！

☆ 生放送の番組では、質問・意見をファックス(03-5790-8154)、電子メールkdmhoso@nyc.go.jpで募集中！



■TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)
39-2661 生涯学習課
■開館時間 9:30～16:30
■休館 月ほか

◆ 今月のきょうどかん ◆

2006年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

■—おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

佐田岬みつけ隊「古筆寄の会」の畑山千沙子さん・林芙美子さん・道元平さん・篠川光加さん・三根生シグミさんらが、縞や紵で半島地図を作ってくれました。古布の味わい光る大作は、迫力の全長428cm・高さ88cm! 現在郷土館ロビーで展示中です。

企画展『洗濯日和』

(9月24日(日)まで)

関連行事

洗濯につかえる
廃油石けんづくり

9月15日(金)18:00～19:30

町見郷土館 2階 学習室

9月5日までに町見郷土館(39-0241)か生涯学習課(39-2661)へお名前とご連絡先をお知らせください。

対 象: 大人(高校生以上)
20人

準備物: 廃油(約500ml)各自
持参。参加費用なし。

※古すぎる油は固まりにくいのでご注意ください。

※石けんの完成・引渡しは1週間後になります。

町見郷土館から

佐田岬半島のお盆Ⅱ

前回に続いて、今回も佐田岬半島のお盆頃の行事についてお話ししましょう。

加周では、通常のお盆の後の8月17日、シユウシチヤ(十七夜)が行われます。これは亀ヶ池で溺れて亡くなった人の霊を供養する日といわれ、この日も盆踊りが踊られます。この地区の盆踊りは、モウジャオドリと呼ばれる独特の踊りがあります。このシユウシチヤの日は、かつては田ノ浦や古屋敷など近隣地区からも集まり、大いに賑わったそうです。

また二見本浦では23日にニシユウサンヤ(二十三夜)といって、地区内のサキダネと呼ばれる谷川沿いにあるお地藏様にお参りします。お地藏様といえば、三机の地藏盆は個性的です。現在は16日に行われていますが、もとはその一週間後、23日頃の盂蘭盆の行事でした。三机地区じゅうの路傍や家におられるお地藏様たち、朝から若者たちによって集められ(一)海岸端の防

佐田岬民俗ノート

16

波堤跡に海に向かって並べられます。その数なんと24体、昔はもっとあったそうです。夕闇せまる頃になると人々が集まり、干瓢・椎茸などのオリウグ、丸めた赤飯、線香・蝋燭、お菓子、そして砂を盛った器などを一団ごとに供え、シンギョウ(般若心経)や弘法大師和讃などが唱えられました。(翌日お地藏様たちは元の場所へ戻されます。)

また、この時期子供たちだけで行われ、現在はすっ

かり止んだボンメシ(九町など)・カワメシ(湊浦などと呼ばれる行事もありました。例えば九町沿岸では、海岸で石を築いてクド(竈)を作り、ご飯を炊いて食べたそうです。大久のほうでも、ずっと昔にオセタイなどと呼ばれやはりクドを築いて飯を炊く行事があったといいます。

お盆頃の行事はこの半島で行われているものだけでも、まだまだ書ききれません。また個々に興味深いものです。豊かな民俗文化を誇りつつ、続きはまたの機会に…。



三机の地藏盆(2005年8月16日撮影)

文芸

俳句

伊方俳句会

花火待つ闇に煌めくイヤリング
木戸悦子
濡れタオルもて灼熱の墓浄む
山崎美喜
吾が背丈越えて向日葵海に向
上田益男
籐椅子に倚れば漁り火
井上良江
揚花火瞬きもせず星一つ
池田君子
突堤に葉月の涛や彩変えて
上田サチエ
初咲と言ひてメールの仏桑花
松坂正子
日照草老いし農夫の力瘤
渡辺日出子

満水のダム湖に映る雲の峰
二宮寿賀子

宝石を天に散りばめ花火果つ
篠川勝子

若嫁ら踊るよ世代交代し
菊池ましえ

万緑の嶺に光れり送電線
篠川晴子

水漕の目高確かむ拡大鏡
田中初子

梅雨の海警笛遠くたなびけり
門田千枝

硝子窓映して夕焼雲燃ゆる
明神つた子

湾花火真向うわが家百米
宇都宮睦子

夏越祭餅もむ熟年パフォーマ
廣瀬秀晴

紅濃ゆし白も亦濃し百日紅
梶谷芳久

瀬戸北斗の会

ブルーゲンビリヤ咲かせて主病
んでいる
脱衣所のずしりと重き汗のもの
井上奈津子
主なき空家傾く合歓の花
漁火の沖に一系列夏来る
佐々木順子

青空や梅雨明け近しと思ひ
けり

緑談のトントン拍子や額の花
伊藤植美

廻り道して山百合の花を見る
豊饒の海に立て網雲の峰
藤村富士子

三机句会

時計草音聴き度くて耳奇せる
中村愛坊
カラス来てもろこし又も食べ
荒す
松前シズ子
干し草の匂ひただよう朝の道
和泉裕子
部尾の窓やさしき夏の風入れ
り
山本タカエ
土用鰻買う吾列の中に佇つ
長谷美久仁
青牧に寝そべりて牛反芻す
二宮清美
土用鰻瞬時に一匹捌きたり
大野律子
夏の日や日陰を追ふて摘果せ
り
安田増子
夕焼けの犬の寝そべる魚霊塔
高地瑠美子
樹下に立つ大樹の蟬が吾に鳴
く
菊岡三代子

あみだ句会

山の色日毎に変わり夏深む
松本ツタ子

老若が心ひとつにクリーンの
日
西上ミツヨ

食卓にくちなしの香のある朝
餉
阿部ヨシ子

涼しげな山百合に会ふ健康歩
菊池タツ子

食卓に縁したたる胡瓜もみ
中村千代香

全国に広がる被害終り梅雨
池上松子

梅雨雲の海まで垂れる豪雨か
な
高月 仁

ひっそりと旅立つ友よ梅雨さ
中
塩崎信子

衰への兆す紫陽花喪に籠り
池上 馨

夏野菜多くみのりて持ち歩く
池井為吉

短歌

かたばみ短歌会

川床の水の流れの清ければ角
石の白際立ちて見ゆ
菊池朱見子

明け方の五時頃ぐらり地震あ
り切迫したる危険に動けず
武田美生子

雨上りの黄の花明る菜園に蔓
かき分けて南瓜を採る
梶田ミヨ子

ねじ花のすいすい伸びて群れ
咲けど華やぎもせず芝生にま
ぎるる
松坂正子

子らと行く初めての旅みちの
くは青田続きて残雪の見ゆ
岡山綱子

もつれつつ空に消えゆく三匹
は恋蝶ならむ三角関係
宇都宮すみ

桑の実で顔染め道化し亡弟と
父母手伝ひし遠き日思ふ
梶谷千代子

原爆の子の像の前千羽鶴捧げ
し子等の温もり思ふ
是沢美那恵

